

会 議 録

1 会議名

第19回上越市自然環境保全推進委員会

2 協議事項（公開・非公開の別）

（1）委嘱状の交付（公開）

（2）自然環境保全条例に関する事業等の概要について（公開）

平成28年度事業について

自然環境保全推進委員会について

自然環境調査・監視員について

（3）自然環境保全地域等の指定検討について（非公開）

自然環境保全地域の指定の検討

保護野生動植物の指定の検討

（4）市民団体等が自然環境保全地域で行う保全活動について（非公開）

3 開催日時

平成29年1月25日(水) 午後1時30分から午後4時まで

4 開催場所

上越文化会館 小会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

・希少な野生動植物の生息地等に関する情報が含まれ、これらの保全の観点から公開が好ましくない内容であるため。（上越市審議会等の会議の公開に関する条例第7条第5号）

7 出席者氏名（敬称略）（傍聴人を除く）

・委員：五百川裕、梅林正、古澤和子、滝澤暉、池田七菜、外立博子、武江純江
・事務局：環境保全課 村山参事、平野副課長、新保係長、石川主事

8 発言の内容

〔 1 〕 開会

〔 2 〕 委員委嘱(指名委員 5 人、公募委員 2 人)... 7 人へ委嘱。中嶋公指名委員は欠席。

〔 3 〕 環境保全課参事あいさつ

〔 4 〕 正・副委員長の選出

各委員の自己紹介。委員長の選任について「事務局一任」の声があり、委員長に五百川裕委員、副委員長に古澤和子委員とする事務局の腹案を提案し、了承された。

〔 5 〕 協議事録

議題(2) 自然環境保全条例に関する事業等の概要について

平成 28 年度事業について

古澤副委員長)

今年度、来年度で新たな保全地域をとという話だが、渦川の扱いはどうなるのか。改修工事を 3 年ほどやっているが、工事が五便橋まで来ている。自然植生の保全はどうなるか。

事務局)

課としての情報はあまり入っていない。分かる範囲として、川全体の矢板が崩れてきているため、川全体を工事している。自然植生の保全については、事業主体から話を聞いている。地域では、町づくりという面で歴史の学習会等が行われているが、自然に関する取組みは行われていない。

古澤副委員長)

氾濫原の植物が今無くなってきている。県の事業なので市は何も言えないのかもしれないが、絶滅危惧種があるので何かしら意見したほうがいいのでは。

事務局)

事業の進め方や植物の状況について、確認させていただきたい。県の進め方もあるので全て残すことが可能かは分からないが、そういった認識を持って事業を進めてもらえるよう繋げたいと思う。

古澤副委員長)

川が増水したときだけ水に浸るという状況で生育する植物もある。そういった部分の調査してもらいたい。

五百川委員長)

県の河川改修計画ということで、植物調査はされていたはず。そういった植物がある場合は工事に考慮するよう話した覚えがある。しかし渦川について十分な調査がされていなかったのかもしれない。可能ならば、依頼してもらえればと思う。

武江委員)

もしそのような植物があれば、工期が遅れたときのお金はどうなるのか。

事務局)

基本的にこういうことは工事前に決めるものである。始まったあとに問題が出てくると行政も工事業者も困る。

武江委員)

そういったところを配慮してもらいたい。

自然環境保全推進委員会について 自然環境調査・監視員について

外立委員)

調査・監視員は公募しているのか。地域の偏りはないのか。

事務局)

調査・監視員は公募している。合併前上越市内の高田、直江津といったバランスはとれているが、頸北に監視員が2名、頸南の監視員がないという状況なので、そういった地域の人もいればより良いと思う。

五百川委員長)

人数の推移はどうか。

事務局)

最初は4名。自然環境保全地域として五智公園、くわどり市民の森が指定された段階で6名。今後も保全地域が指定されていくことを考えて、定員を20名としている。

議題(3) 自然環境保全地域等の指定検討について(非公開)

議題(4) 市民団体等が自然環境保全地域で行う保全活動について(非公開)

9 問合せ先

環境保全課環境対策係 TEL: 025-526-5111 (内線 1552)

E-mail: kankyotaisaku@city.joetsu.lg.jp